

6/12

## 自らの一票が南宇和高校の未来を左右する 生徒会役員選挙で生徒が模擬選挙を体験



▲真剣な表情で投票に臨む生徒たち

南宇和高校体育館で生徒会役員選挙が行われ、主権者教育講座の一環として、体育館に「南宇和高等学校投票区」として投票所が設けられ、生徒自らの手で新しい生徒会役員を選出しました。この講座は、政治や選挙を身近に感じ、社会参画への意識を育むことがねらいです。

立候補者による白熱した立会演説の後、生徒らは町選挙管理委員会から投票の手順や留意点について説明を受け、本物の投票箱や記載台を使用して投票に臨みました。投票管理者が開場を宣言すると、最初の選挙人に指名された生徒が緊張した面持ちで空の投票箱を確認して1票を投じ、続いてほかの生徒らも、真剣な表情で記載台へと向かいました。一人一人が選挙の重みをしっかりと受け止め、自らの意思を1票に託しました。

6/19

## 漢字を擬人化した世界観で漢字に興味をもってほしい 蓮乗寺メイ（ハスメイ）さんが町長を表敬訪問



▲中村町長に自身の作品を手渡す蓮乗寺メイさん

町出身の漫画家、蓮乗寺メイ（ハスメイ）さんは、1字で意味を表す漢字の魅力に惹かれ、独自の視点で「部首」を擬人化したキャラクターを描く作家として活動し、イラスト集を出版。5月には東京・原宿で個展を開催するなど、大人から子どもまで楽しめる内容が話題となって注目を集めています。

6月19日（金）の表敬訪問では、出版した本を町内の小中学校で活用し、子どもたちが漢字や部首により親しみを持つきっかけになればとの思いを中村維伯町長に伝えました。

ハスメイさんのイラスト集は町内小中学校の図書室に置かれ、多くの子どもたちに親しまれています。

7/1

## 7月は「社会を明るくする運動」強調月間 第76回「社会を明るくする運動」広報パレード出発式



▲出発式参加者の皆さん

役場本庁で、第76回「社会を明るくする運動」の広報パレード出発式が開催されました。

この運動は、犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を目指すもので、南宇和地区保護司会や更生保護女性会、愛南警察署など、およそ50人が参加しました。出発式では、内閣総理大臣からのメッセージとして、更生保護を支える保護司をはじめとするボランティアの活動をより多くの人に知ってもらうこと、そして令和7年に採択された国連の準則でも保護司の取り組みが紹介されるなど、日本の更生保護が国際的にも評価されていることが伝えられました。

その後、警察車両と広報車両が町内全域を巡り、住民に運動への理解と協力を呼びかけました。

7/  
3

## 「海洋系町おこし企画立案による高等学校実践型教育」事業 愛南町が初の事例として三者連携協定締結式



愛媛  
CATV  
動画



▲左から（公財）B&G財団 岩井正人常務理事  
中村維伯町長、南宇和高校 中村正直校長

役場本庁で「海洋系町おこし企画立案による高等学校実践型教育」事業の三者連携協定締結式が行われました。

この事業は、南宇和高等学校の生徒が地域の海洋資源を生かした町おこし企画の立案・商品提案に取り組むもので、愛南町での実施が全国初の事例となります。式典にはB&G財団の岩井正人常務理事、南宇和高校の中村正直校長、中村維伯町長が出席し、中村町長は「高校生がどのようなアイデアを考え、形になっていくのか大変楽しみにしている」と期待を述べ、生徒たちの挑戦を全面的に支援していく考えを示しました。

今年度は基礎学習やフィールドワークを経て、生徒が企画を立案し、次年度の商品提案を目指します。

7/  
10

## 自衛隊の活動を身近に感じてもらい、地域との交流を図る 自衛隊ふれあいコンサートin愛南



愛媛  
CATV  
動画



▲子どもから大人まで楽しめる曲が多く演奏され  
会場は大いに賑わいました

御荘文化センターで陸上自衛隊第14音楽隊による「自衛隊ふれあいコンサートin愛南」が開催されました。

愛南町自衛隊家族会が主催したコンサートは2部構成で行われ、第1部は町内中学生の希望者を招待し、第2部では一般の方を対象に開催されました。香川県善通寺市を拠点に四国4県で活動する同音楽隊が、吹奏楽の名曲や親しみのある楽曲を披露し、息の合った演奏と迫力あるサウンドに来場者は聴き入りました。

またゲストとして南宇和高校吹奏楽部が出演し、音楽隊との合同演奏も行われ、世代を超えて作り上げたステージに大きな拍手が送られました。

7/  
14

## より高度な救助技術の習得を目指して 四国指導会を目前に救助訓練査閲会を実施



愛媛  
CATV  
動画



▲迅速かつ正確に装備を整え、最後の障害に挑む3人の隊員

四国消防救助技術指導会に出場する隊員の体力と精神力、救助技術向上を目的に、町消防本部で7月14日(火)救助訓練査閲会が行われました。

隊員らが臨んだ訓練種目は「障害突破」。選手・指導者ともに初挑戦となる種目でしたが、試行錯誤を重ねながら厳しい訓練を積み重ねてきました。この種目は4人1組(補助員含む)のチームが緊密に連携し、「乗り越える」「登る」「渡る」「降りる」「濃煙を通過する」の基本動作で5つの障害を突破するものです。出場した隊員4人はこれまで励んできた訓練の成果を十分に発揮し、7月25日(土)に高知県で開催された四国指導会でも迅速さと正確さのある動きを見せました。

7/  
22

相互の発展および地域創生の実現に向けて

高砂熱学工業株式会社との包括連携協定に関する締結式

愛媛  
CATV  
動画

## 包括連携協定締結式



▲左から 中村維伯町長、小島和人代表取締役社長



7月22日(水)、役場本庁で高砂熱学工業株式会社との包括連携協定の締結式が行われました。この協定は、地域産業の振興や防災・減災、環境エネルギー、教育・人材育成などの分野で相互に協力し、持続可能な地域社会の実現を目指すものです。

1923年創業の高砂熱学工業株式会社は、企業版ふるさと納税を活用した城辺中学校の体育館への空調設備の寄附や愛南マラニックへの協賛等を通じ、本町との関わりを重ねてきました。同社の小島社長は、地域資源と環境技術を組み合わせた「愛南モデル」の確立を目指していきたいと意気込みを語りました。教育施設ならびに避難所における環境改善、地域資源を活用した再生可能エネルギー事業体の構築など、具体的な連携を進めていく方針です。

また、同日には母校である南宇和高校で『未来を支える技術と人材育成』というテーマのもと講演を行った小島代表取締役社長。出席した生徒らは熱心な姿勢で話を聞き、社会で求められる資質や能力、働くことの意義について理解を深め、質疑応答の時間には時間いっぱい質問を投げかけるなど、貴重な機会となりました。

8/  
4

8月は電気使用安全月間

南宇和電気工事組合が毎年恒例 高齢者宅の電気安全点検

愛媛  
CATV  
動画

▲一軒一軒丁寧な作業で点検を進める岩村理事長

この点検は年ごとに旧5カ町村を巡回しており、来年度は西海地域で実施される予定です。

8月の「電気使用安全月間」に合わせ8月4日(火)に、南宇和電気工事組合・(一財)四国電気保安協会・四国電力送配電(株)の3団体が参加し柏地区に暮らす高齢者宅6軒で点検を実施しました。

この日は配電盤の漏電の有無や屋外の電線の劣化状況を点検し、家電製品が多く設置されている台所では、配線状況の確認やアドバイス、ほこりが原因で発火する「トラッキング現象」を防ぐための清掃などを行いました。

また、電気関係の点検だけでなく地震の際に転倒の恐れがある家具への固定を促す場面もあり、点検をしてもらった高橋吉美さんは、「普段一人暮らしをしているので、点検をしてもらった安心感と嬉しさでいっぱい」と笑顔で話しました。

## 南宇和電気工事組合

理事長:岩村 真典<sup>まさのり</sup> 副理事長:松田 寛幸<sup>ひろゆき</sup>

## 【組合員(加盟事業者)】

- ・(株)岩村電気水道・マツダ電化・(有)永井電器店
- ・(有)坂本電工・(有)山下電機商会・(株)愛南設備
- ・後藤電器・高橋電気・中山電気
- ・(株)プログレス・南宇和ガス燃料(株)



▲後列左から 松田さん、吉良さん、永尾さん、菊池さん  
前列左から 高橋さん、坂本さん、岩村さん、永井さん